

令和2年度用「中学音楽」2年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年6月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。
学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。
学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 題材ごとの配当時数、学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各題材の評価規準、及び評価基準については、当社ホームページの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。
- 当該学年で取り扱う内容や歌唱共通教材等については、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせて取り上げたりするなどの配慮が必要となります。その際は、それぞれの年度の担当教員で引継ぎを行うなど、適切な取り扱いとなるようご注意ください。

音楽 教育出版株式会社 中学校2年 「中学音楽 音楽のおくりもの 2・3上」「中学器楽 音楽のおくりもの」

以下の資料は、当社の教師用指導書ならびにホームページに提示している中学校第3学年の年間指導計画作成資料に基づき、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」と、「指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動」について一覧にまとめたものです。

年間指導計画例はこちらのURLから、「実用例一覧 (Excel)」の中のタブ「<実用例> 2・3上」をご参照ください。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/chuu/ongaku/document/ducu1/index.html>

注 1) 学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動に「調べる」活動を示していますが、教科書の記述内容の理解を深めたりインターネット等を利用して調べたりすることが考えられます。「ワークシートにまとめる活動」については、教科書の楽譜や書き込み欄に記述・記入したり、ワークシートや生徒が準備できるノートなどにまとめたりすることが考えられます。

注 2) 学校の授業以外の場での学習で、歌唱やリコーダー等について個人で演奏する場合は、感染防止や学習環境に十分な配慮が必要なため、保護者等と確認してから実施するようにご注意ください。

注 3) 表中の「範唱」や「範奏」及び「鑑賞用音源」は、教育出版株式会社のホームページにある「『中学音楽 音楽のおくりもの』自宅学習用教材曲音源」を活用することを想定しています。なお、現段階ではアップされていないものもあります。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/chuu/ongaku/document/ducu2/doc204/m-index.html>



自宅学習用教材曲音源

教科書 ページ	題 材 名	配当時数 ()内は 学校の 授業以外の学習分	学校の授業以外の場において行うことが考えられる 教材・学習活動	指導順序を変更することが考えられる 教材・学習活動
	教 材 ・ Let's Try! の活動			
p.4-5 p.6-7	<p>歌詞の内容や全体の響きを生かして ーオリエンテーション含むー</p> <p>【歌唱】 生命が羽ばたくとき 【歌唱】 語りあおう</p>	5 (1)	<p>「生命が羽ばたくとき」「語りあおう」の歌詞を言葉のまとまりに注意しながら音読し、歌詞の内容を理解する。</p> <p>「生命が羽ばたくとき」「語りあおう」の諸記号を確認しながら、範唱に合わせて主旋律または担当するパートの旋律を歌い、気がついたことを教科書に記入したりワークシートにまとめたりする。</p>	実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。
p.26-29 p.29	<p>旋律の表れ方や重なり方を理解して</p> <p>【鑑賞】 小フーガ ト短調 【鑑賞】 2声のインヴェンション 第1番</p>	3 (1)	<p>教科書の説明文を読み、パイプオルガンの演奏の仕方や音が出る仕組みを調べる。</p> <p>p.28の楽譜を参照しながら「小フーガ ト短調」を鑑賞用音源で鑑賞し、p.29「伝えてみよう」の指示内容について考え教科書にまとめる。</p> <p>p.29「聴き比べてみよう！」の説明文を読み、「2声のインヴェンション 第1番」を鑑賞用音源で鑑賞し、気がついたことや聴き取ったこと、感じ取ったことをワークシートやノートにまとめる。</p>	歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。

<p>p.30-32-② p.48-49</p>	<p style="text-align: center;">音楽の構成の仕方を理解して</p> <p>【鑑賞】 交響曲第5番 ハ短調 【創作】 動機を生かした旋律をつくろう</p>	<p>4 (1)</p>	<p>教科書の説明文を読み、第1楽章の構成や動機、交響曲やオーケストラの楽器や配置について調べる。 p.32-①-32-②の楽譜を参照しながら「交響曲第5番 ハ短調 第1楽章」を鑑賞用音源で鑑賞し、気がついたことや聴き取ったことをワークシートやノートにまとめる。 「動機を生かした旋律をつくろう」のp.48の活動1と活動2の説明を読み、リコーダーを使ったり口ずさんだりしながら動機をつくり、教科書に記入する。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。</p>
<p>p.12-15 p.16-19 p.20-21</p>	<p style="text-align: center;">歌詞と音楽との関わり</p> <p>【歌唱】 浜辺の歌 【歌唱】 花の街 Let's Try! 指揮をしてみよう</p>	<p>5 (2)</p>	<p>情景を想像しながら「浜辺の歌」「花の街」の歌詞を音読する。 「浜辺の歌」「花の街」の諸記号を確認しながら、旋律の反復に着目して範唱を聴いたり、範唱に合わせて主旋律を歌ったりして、気がついたことを教科書に記入したりワークシートにまとめたりする。 「浜辺の歌」「花の街」の拍子や速度を確認し、範唱に合わせて指揮の動きで表現する。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>
<p>器楽 リコーダー p.14 p.64</p>	<p>【器楽】 サミング「浜辺の歌」 【器楽】 もみじ</p>		<p>「浜辺の歌」または「もみじ」のアルト・リコーダーの運指を確認しながら、範奏に合わせて演奏する。</p>	<p>実際にリコーダーを演奏する活動又はグループでの活動に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>

<p>p.33-①-33 p.40-41 p.34-37 p.38</p>	<p style="text-align: center;">雅楽の豊かな表現を味わいながら</p> <p>【鑑賞】 雅楽「越天楽」 p.33-① 【鑑賞】 日本と世界をつなぐ音 p.40 【鑑賞】 歌舞伎「勸進帳」 p.34 Let's Try! 「越天楽」を体験しよう p.38</p>	<p>6 (2)</p>	<p>雅楽について教科書の説明を読み, p.33 や巻末口絵を参照して使われる楽器について調べる。 p.33-①の楽譜を参照しながら「雅楽『越天楽』」を鑑賞用音源で鑑賞し, 気がついたことや聴き取ったこと, 感じ取ったことをワークシートやノートにまとめる。 「日本と世界をつなぐ音」から p.40 「リードを振動させて音を鳴らす楽器」, p.41 「弦を振動させて音を鳴らす楽器」の説明文を読み, 鑑賞用音源で各楽器の音色を聴き取り, 気がついたことや聴き取ったこと, 感じ取ったことをワークシートやノートにまとめる。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は, この題材の鑑賞の学習を先に取り上げることが考えられる。 実際に声を出して行う「Let's Try! 『越天楽』」を体験しよう」の指導順序を変更する。</p>
<p>【器楽】 三味線 p.40-44 p.45</p>	<p>【器楽】 姿勢とかまえ方/各部の名称/糸と駒の準備/調弦法/基本的な奏法/開放弦の練習/勘所の押さえ方/三味線の楽譜 【器楽】 勘所の練習「さくらさくら」</p>		<p>三味線について, 教科書の内容をまとめたりインターネットで検索したりして, 分かったことをノートにまとめる。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は, この題材の器楽の学習を先に取り上げることが考えられる。</p>
<p>p.22-23 p.24-25 p.66-67 p.80-81</p>	<p style="text-align: center;">声部の役割を理解して</p> <p>【歌唱】 夢は大空を駆ける 【歌唱】 この星のどこかで ＜「歌のアルバム」の選択可能な他の楽曲＞ 【歌唱】 大切なもの 【歌唱】 故郷（混声三部合唱）</p>	<p>6 (1)</p>	<p>p.84-②『反復』を参照して「夢は大空を駆ける」の反復の仕方を確認しながら, 速度や強弱の変化に着目して範唱を聴く。 p.84-②『反復』を参照して「この星のどこかで」の反復の仕方を確認しながら, 旋律の重なり方や全体の響きに注目して範唱を聴く。 「夢は大空を駆ける」「この星のどこかで」の諸記号を確認しながら, 範唱に合わせて主旋律または担当するパートの旋律を歌い, 気がついたことを教科書に記入したりワークシートにまとめたりする。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>

p.42-43 p.44-47	オーケストラの豊かな表現	3 (1)	<p>教科書 p.46-47「ガルトマンの絵画」を鑑賞し、自分の印象や感じたことをワークシートやノートにまとめる。</p> <p>「組曲『展覧会の絵』の「グノーム」「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」「鶏の足の上の小屋」「キエフの大門」について公衆送信などの音源を利用して鑑賞し、絵画を鑑賞した際の印象と比較して感じ取ったことをワークシートやノートにまとめる。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。</p>
	<p>【鑑賞】 交響組曲「シェエラザード」から第2楽章</p> <p>【鑑賞】 組曲「展覧会の絵」から</p>			
p.50-51 p.56-57	音楽の構成を工夫して	3 (1)	<p>どんな特徴があるかな？「さくら変奏曲」の主題と変奏1～7について鑑賞用音源で聴き取り、「さくらさくら」の旋律の表れ方をワークシートやノートに記録する。</p> <p>変奏4と5の違いについて教科書を参考にもう一度聴き取り、聴き取ったり感じ取ったりしたことをp.57「伝えてみよう！」にまとめる。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。</p> <p>「構成を工夫して箏（こと）で表現してみよう」を学習する前に、「どんな特徴があるかな？『さくら変奏曲』」を先に取り上げることが考えられる。</p>
	<p>【創作】 構成を工夫して箏（こと）で表現してみよう</p> <p>【鑑賞】 どんな特徴があるかな？「さくら変奏曲」</p>			